

平成25年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

平成25年6月11日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



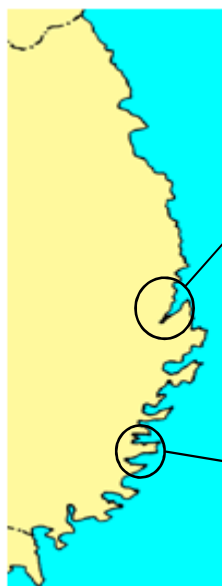
稚貝の付着は継続中

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.8℃と平年より1℃程低め。水深10～30mで10℃台となっています。透明度は10m（前回8m）でした。
- 唐丹湾のラーバの出現数は、200μm以上の大型個体は10個/m³と前回より増加しましたが、割合は1割未満と少なめで低調に推移しています。
 （※唐丹湾以外の今期のラーバ調査は終了しました。）
- 試験採苗器の付着稚貝数は35～381個/袋（前回57～1,771個/袋）でした。唐丹湾の付着稚貝数は381個/袋（前回603個/袋）と減少しましたが、そのうち付着直後の個体は2割となっており、付着は若干ながら継続中です。
- ムラサキイガイの出現数は、前回より大幅に減少しています。付着稚貝数は唐丹湾で132個/袋（前回1,348個/袋）でした。
- ホタテガイの付着稚貝数は減少傾向ですが付着は継続中です。県北部から県南部において、概ね採苗器の投入は終了となっていますが、残りの採苗器がある場合は早めに投入を終了してください。

< 噴火湾の状況（6月7日発行函館水試噴火湾ホタテガイ情報） >

- 湾全域の沿岸と沖合に高密度の中型～大型のラーバが分布。過去最高レベルの採苗が期待。



浄土ヶ浜 6/6 -/-℃
 一個/m³、一個/m³
 5/30～6/6 35個/袋

白浜前 6/6 -/-℃
 一個/m³、一個/m³
 5/30～6/6 99個/袋

唐丹 6/10 11.8/10.8℃
 121個/m³、10個/m³
 6/3～6/10 381個/袋

図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

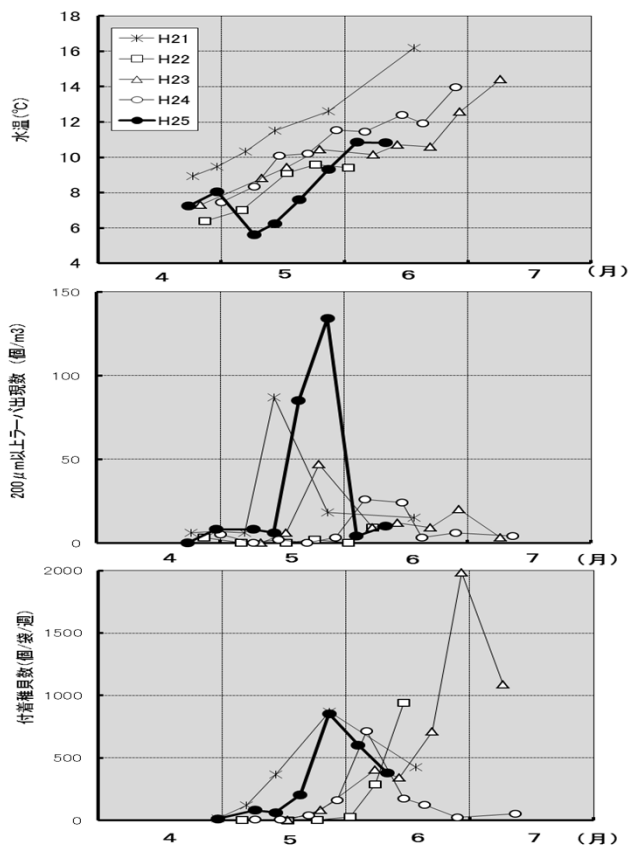


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月18日に発行する予定です。